



令和2年11月13日

草津市議会  
議長 西田 剛 様

草津市議会会派 草政会  
会長 中嶋 昭雄

市政意見交換会について、下記の通り報告書を提出いたします。

記

1. 期 間            令和2年11月11日(水) 午前7:00～午前8:00
2. 場 所            ホテルポストンプラザ草津びわ湖
3. 参加者           草津市長 橋川 渉  
草政会 中嶋昭雄 西田剛 瀬川裕海 永井信雄 小野元嗣  
山元宏和 横江政則 伊吹達郎 遠藤覚 中島美徳  
川瀬善行 井上薫 田中香治 服部利比郎
4. 添付資料       別紙のとおり

以上

## 意見交換議事録（要約）

中嶋議員：コロナの中、財政的に厳しい状況であるがインフラ整備は市民生活にとって大変重要である。財政的に厳しい中ではあるが、今後のインフラ整備について市長の意見を聞く。

市長：インフラで一番必要なものは道路整備でこれは経済波及効果、周辺開発も進むし、物流、人の流れも円滑となる新たな企業の進出も見込める。そういう面でも力を入れていかねばならない。すでに大江霊仙寺線は計画的にしているが、草津市域までは計画通りに進んでいるが、本来は大津市域にまで進まないという意味がない。もう一つには草津市域の中では、平野南笠線の都市計画道路とつなぐことで大きなメリットが得られる。今回、大津市長が変わったことで、さらに前進すると思う。草津川の志津に向かった道路整備（区間6）も栗東と協議しており、今後の火葬場の事もあり、さらに協議を深めていく。そして、河川整備については雨水幹線整備を市は進めていくが、その下流域にあたる一級河川の整備が進まず、県にも何度もお願いしています。

中嶋議員：市役所の前から通っている計画道路、宮町、若竹線ができると草津市の中心市街地の流れがよくなると思う。大路学区と草津学区が一つになって商業圏が生まれる。さらなる費用対効果が生まれるのではないかと考えるが、市長の意見はどうか？

市長：計画道路を進める中で宮町、若竹線も候補である。住宅の立ち退きをいかに円滑にできるのかが課題である。立ち退き先をどのように確保していくのか、調整をしながら実現ができるかどうかについての方策を考えていかなければならない。

瀬川議員：ただいま、建設中の市民交流センターやこれから本格化していく市立プール事業がある中で、コロナも第3波が来ています。市民感情からすると、こういったときに、億単位のお金が動いていることに様々な意見が出ると思います。市としてコロナに対する政策をもっとしていくべきではないかと思うが市長は今後どのように考えているのか？

市長：国の3次補正で、何らかの措置をとってくるか注目をしている。前回の対策費の中で予備費2億円積ませていただいております、どのようにコロナ対策に使っていくか考えているところである。

瀬川議員：国の方で以前1人10万円の対策をされました。3割から4割は貯金に回ったと聞き及んでいる。とあるテレビで5万から10万円程度、マイナンバーカード取得者にマイナポイントとして期間限定で一律に与える。期限を区切

ることで貯金せずに使うであろう。さらに、マイナンバーカードの更なる普及にもつながるし、ポイントを飲食店だけではなくあらゆるところで利用することで、一部の人や店だけでなくすべての助けとなると思います。

西田議員：コロナにより来年から予算立てが多変厳しいと思います。そんな中、新たな税收確保のためにも、草津川跡地公園をもっと有効活用できるよう取り組んでほしい。既に供用開始している区間2，5でももっと賑わいや回遊性が上昇するよう取り組み、今後整備をする区間6も道路だけでなく賑わいが生まれる場所にしてほしいと思うが、市長の見解を聞く。

橋川市長：区間6でもテナントミックスの計画もしている。他の区間においてももっと有効活用していけるよう指定管理者とも協議をしていく。そして、産業建設常任委員会の所管事務調査でも、その活用について議論いただいているので、その意見も注視したい。





